

映画大国インドから 話題の作品を紹介します



IMW

Japan

INDIAN MOVIE WEEK JAPAN 2020

インディアン ムービー ウィーク 2020



インディアンムービーウィーク2020

年間の映画製作本数が2,000本を超えるインド[※]。主要な地域言語ごとに映画産業があり、作風が異なり、スター俳優がいます。作り手たちの間では若干の越境もありますが、市場としては各言語圏の独立性が高く、複数の映画界が並立しているのがインド映画のユニークさです。インディアンムービーウィーク2020では、映画製作が盛んな五つの言語圏（ヒンディー、タミル、テルグ、マラーヤラム、カンナダ）のヒット作、注目作品を日本語字幕付きで上映します。

※2018年4月1日から2019年3月末日までに中央映画検定局の検閲を受けた長編劇映画作品は55言語2,446作品。

無職の大卒

Velaiilla Pattadhari

大学で土木工学を学んだラグヴァランは、花形のIT専攻でなかったばかりに職が見つからない。ようやくチャンスを得るが、大手建設会社の御曹司と対決する。インド映画定番の「職のない若者」をダヌシュが好演した、爽やかで痛快な一作。



監督：ヴェールラージ
出演：ダヌシュ、サムドラカニ、アマラ・ポール

2014年 / タミル語 / 133分

ドラマ ダンス

日本初上映

ウイルス

Virus

原因不明の高熱と嘔吐で病院に運び込まれた男性は、程なく死亡する。2018年にケララ州北部で発生したニパウイルス感染症。原因究明と感染拡大防止に努めた対策本部、治療に当たった医療従事者らを描く群像ドラマ。



監督：アーシク・アプ
出演：レーヴァティ、パールヴァティ、クンチャーコー、ポーバン

2019年 / マラーヤラム語 / 150分

スリラー
日本語字幕版初上映

浄め

Shuddhi

インドを訪れた米国人女性が、バンガロールで拳銃を入手する。そこからマイソール、マンガロールと、一見ただの観光旅行にみえるその行程は、危険な使命を帯びた旅だった。インドに根深い「女性への暴力」の問題と向き合う一作。



監督：A. H. イーシュワラッパ
出演：ニヴェーディタ、ローレン・スパルターノ

2017年 / カンナダ語 / 116分

スリラー
日本初上映

僕の名はパリエルム・ベルマール Pariyerum Perumal

弁護士を目指し法科大学に進学したパリエルム・ベルマール。ダリト（不可触民）出身の彼は、仲良くなった女子学生の親族から激しい差別を受ける。インド社会の暗部であるカースト問題を、圧倒的なリアリズムと幻想的表現で描いた名作。



監督：マーリ・セルヴァラージ
出演：カディル、アーナンディ、ヨーギー・バーブ

2018年 / タミル語 / 153分

ドラマ
日本初上映

※ 本作にはCGで表現された動物への暴力の描写が含まれます。

ジャパン・ロボット

Android Kunjappan Version 5.25

ケララ州の片田舎にやってきた日本製ロボット。頑固老人の心はロボットの登場によって変化し、一人息子との関係も揺らぎ始める。着ぐるみ感満載のロボットなど脱力系コメディに見せかけ、鋭い皮肉を随所に散りばめる。



監督：R. B. ボドゥヴァール
出演：サウビン・シャーヒル、スラージ・ヴェニヤラムード

2019年 / マラーヤラム語 / 138分

ドラマ コメディ
日本初上映

お気楽探偵アトレヤ

Agent Sai Srinivasa Athreya

探偵業を始めたアトレヤは、レイプ殺人事件を調査するうちに、線路脇で身元不明死体が多数見つかる別の怪事件に絡め取られ、自身が容疑者となる。『きっと、またあえる』にも登場のナヴィーン・ポリシェッティ主演のユーモア探偵映画。



監督：スワループ R. S. J
出演：ナヴィーン・ポリシェッティ、シュルティ・シャルマー

2019年 / テルグ語 / 146分

探偵 コメディ
日本初上映

結婚は慎重に！ Shubh Mangal Zyada Saavdhan

密かに愛を育んでいたカールティクとアマン。アマンが親戚の結婚式のため帰郷した時、二人の関係が彼の父に知られてしまう。両親に逆らえず、アマンは許嫁との結婚を承諾する。男性カップルの波乱を通じ、結婚と幸せについて疑問を投げける。



監督：ヒテーシュ・ケワルヤール
出演：アーユシュマン・クラーナ、ジテンドラ・クマル

2020年 / ヒンディー語 / 117分

コメディ ダンス
日本語字幕版初上映

ビギル 勝利のホイッスル

Bigil

花形サッカー選手だったマイケルは、友人に代わり女子サッカー州代表チームの監督となり、全国大会に進出する。女性のエンパワメントをテーマに据える一方、ヴィジャイのダンス、アクション、一人二役も盛り込み、見どころ満載。



監督：アトリ
出演：ヴィジャイ、ナヤンタラ、ヨーギー・バーブ

2019年 / タミル語 / 177分

アクション ダンス
日本語字幕版初上映

ストウリー 女に呪われた町

Street

祭りの季節になると女の幽霊（ストウリー）が現れ、若い男性をさらうという伝説がある町。仕立屋のヴィッキーはある日、謎めいた女性に出会う。その頃、ヴィッキーの友人が幽霊にさらわれる。怪談を基にしたホラーコメディ。



監督：アマル・カウシュク
出演：ラージクマル・ラーオ、シュラッダー・カプール

2018年 / ヒンディー語 / 128分

ホラー コメディ ダンス
日本初上映

伝説の女優 サーヴィトリ Nadigaiyar Thilagam

1940年代末、女優になると「映画の都」マドラスにやって来た少女サーヴィトリ。小さな役を求めて奔走していた彼女は、数年の後に大スターとなっていた。実在の大女優の一代記。豪華絢爛なソングと古映画の再現シーンが見もの。



監督：ナーグ・アシュウィン
出演：キールティ・スレーシュ、ドゥルカル・サルマーン

2018年 / タミル語 / 167分

ドラマ ダンス 日本初上映

料金

1,800円(税込) 均一

・特別興行のため、各種割引・招待券・株主優待券は、ご使用いただけません。
・前売券の販売はありません

チケット販売スケジュール

上映劇場のウェブサイトにて、ご確認ください。

上映スケジュール

公式サイト、上映劇場サイトにてご確認ください。

上映劇場

【東京】キネカ大森

2020年9月11日(金)～10月8日(木)

【大阪】シネ・リーブル梅田

2020年10月9日(金)～10月22日(木)

【東京】新宿ピカデリー

2020年9月25日(金)～(終了日未定)

【同時開催】

宮城：MOVIX 利府 / 埼玉：MOVIX 三郷

千葉：MOVIX 柏の葉 / 愛知：ミッドランドスクエアシネマ

京都：MOVIX 京都 / 大阪：なんばパークスシネマ

兵庫：神戸国際松竹

インディアンムービーウィーク2020

主催：SPACEBOX

Twitter: @ImwJapan 公式サイト: imwjapan.com



INDIAN MOVIE WEEK JAPAN 2020